

宮崎大学

【N079 宮崎大学】

	宮崎大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:370 第3年次:10） 大学院工学研究科（M:134） 大学院農学工学総合研究科（D:16）
沿 革	昭和19（1944）年 宮崎県工業専門学校創立 昭和24（1949）年 新制宮崎大学工学部設置 昭和51（1976）年 大学院工学研究科修士課程設置 平成8（1996）年 大学院工学研究科博士課程設置 平成19（2007）年 大学院工学研究科博士課程を廃止し、大学院農学工学総合研究科博士課程設置
設置目的等	<p>宮崎大学工学部・工学研究科の母体である宮崎県工業専門学校は、有為な青少年を工業教育によって大に技術員を養成することを目的として昭和19年に設置された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、宮崎県工業専門学校は、宮崎大学工学部として承継された。</p> <p>昭和51年、専門分野における理論と応用の研究能力を培った人材を養成することを目的に、工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成8年、高度な専門的技術者、研究者の育成と社会人の再教育を目的に、工学研究科博士課程が設置された。</p> <p>平成19年、農学と工学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目的に、農学工学総合研究科が設置された。（工学研究科博士課程廃止）</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>宮崎大学においては、『世界を視野に地域から始めよう』のスローガンのもと、変動する時代並びに多様な社会の要請に応え、人間性・社会性・国際性を備えた専門職業人の養成を通じ、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造の分野などで地域を始め広く社会の発展に寄与することを目指した教育、研究、社会貢献に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 宮崎県をはじめとする周辺地域の工学教育の機会均等に寄与し、</p>

企業等で実践力を有する工学専門職として活躍できる技術者の育成とともに、産業界等で活躍できる実践的な応用力を有する高度専門技術者の育成の役割を果たす。さらに、農学と工学が連携・融合した教育研究領域の深化を図り、総合的判断力と高度な研究能力を備えた技術・知識基盤社会の形成に資する人材育成の役割を果たす。

- 国際的に通用性のある認定教育プログラム、自主を促す工学技術者キャリア教育プログラム、農工連携・融合教育プログラム等の特色ある教育をはじめとし、工学基礎教育の組織的な強化、技術者と協働した産学連携教育プログラム等を積極的に進めてきた実績を生かし、宮崎に根ざし世界に目を向けてグローバルに活躍できる工学系人材を育成する教育改革を推進する。
- 全学的な研究方針に基づき、農工融合研究を進展させ、バイオマスを活用するリサイクル工学や太陽光を利用するエネルギー学をはじめとする工学の諸分野で地域特性を生かした研究を推進して、地域社会や我が国の工学の発展に寄与する。
- 物理、化学、工業系等での高大連携教育ネットワークによる教育内容・方法を改善する協議や研修及び小中高生を対象とする多彩な科学啓発の講座開催や実験指導の実績を生かし、初等中等理科教育の充実と理科大好き青少年の育成に貢献する。
- 国際学術・学生交流に組織的に取り組み、アジア諸国の行政官・教員等を受け入れる社会人留学・技術研修及び砒素汚染対策等での海外技術協力の実績を生かし、国際的な工学系人材の育成や環境保全に貢献する。
- 太陽光発電関連産業群形成を目指した高度人材育成創出プログラムによる技術研修などの実績を生かし、地域の技術者等のニーズを踏まえた高度な技術教育の実施により、社会人の「学び直し」を通して地域産業の振興に貢献する。